

2016 年 11 月 18 日

CA Technologies、新しい拡張アナリティクスと 「サービスとしてのアイデンティティ」(Identity-as-a-Service) 製品で セキュリティ・ポートフォリオを一段と強化

～インサイダーの脅威を動的に検出、対応しクラウドとオンプレミス・
アプリケーションのアイデンティティ/アクセス管理を簡素化～

(本資料は、2016 年 11 月 16 日 CA World' 16 にて米 CA が発表した情報の抄訳です)

(2016 年 11 月 16 日、ラスベガス発 — CA World '16)

CA Technologies (本社: 米国ニューヨーク州アイランディア市、CEO: マイケル・グレゴア) は、CA Privileged Access Manager (PAM) を統合した新しい行動アナリティクス・ソリューション [CA Threat Analytics for PAM](#) を発表しました。脅威検出能力と特権ユーザーに関連する違反保護能力を向上させる機械学習機能の特徴としています。同時に、オンプレミス・ベースおよびクラウド・ベースのアプリケーションのアイデンティティ/アクセス管理 (IAM) のニーズを満たす新しい「サービスとしてのアイデンティティ」のターンキー・ソリューション [CA Identity Service](#) を発表しました。

CA Technologies Security 事業担当 シニア・バイス・プレジデント兼ゼネラル・マネージャ Mordecai Rosen
CA の極めて優れた自己学習行動アナリティクスを特権ユーザーの行動に適用することで、CA は CISO (最高情報セキュリティ責任者) の最大の課題である不正行為者の一歩先で対応することができます。CA Identity Service によって企業は単なる保護を超えた安全な事業運営を広げ、埋込み型のオンプレミス・システムをサポートしつつ、クラウドのアプリケーションとサービスの敏しように性はそのまま活かすことができます。

ハイブリッド IT 環境における脅威の検出、違反防止、IDaaS で新しいスタンダードを確立

本日発売される CA Threat Analytics for PAM は特権ユーザーの行動をモデリングし、様々な要因に基づくリスクを軽減します。要因には、ユーザーの場所、活動の時間と長さ、アクセス対象のデータ、セキュリティに関するユーザーの追跡記録、過去の行動などが含まれます。違反や脅威が検出されると、システムは自動的にセッションの記録や、より強力な認証手順の実施、セキュリティ・システムや運用部門へのアラートなどの制御機能を起動し、リスクを軽減します。

CA の後援により Coleman Parkes Research が[最近実施したグローバル調査](#)の結果*、82%の回答者がアイデンティティ中心のセキュリティは会社にとって不可欠と考えていました。CA Identity Service は近代的なハイブリッド IAM ソリューションのニーズを満たし、[CA Single Sign-On](#) で管理される企業のオンプレミス・アプリケーションと共に、クラウド・アプリケーション/サービスを素早く安全に採用する敏しように性を企業に与え、あらゆるものをローンチパッドというダッシュボードで一元管理できるようになります。CA Identity Service はセキュリティ、敏しように性、さらにより良いユーザ・エクスペリエンスにおける最適なバランスを維持することを可能にします。

Simeio Solutions シニア・バイス・プレジデント Ed Pascua 氏

お客様の事業は益々ハイブリッド IT 環境に移行しています。お客様のクラウド・ベースとオンプレミスにおけるアプリケーションを両方ともサポートするアイデンティティ/アクセス管理ソリューションを提供する必要があることは明白です。CA Identity Service は、お客様のハイブリッド・エンタープライズのニーズを満たすために

私たちが必要としている柔軟性と管理能力を提供してくれます。CA の Identity Service は、Simeio Solutions がハイレベルな顧客満足を実現する上で欠かせない最高のツールです。

CA Identity Service は本日からご利用可能になり、[無償のトライアル版](#)をダウンロードしていただくことができます。

これらの新製品はCAのソフトウェア・ポートフォリオの一部であり、企業に市場のシフトや運用上のセキュリティ・ニーズを感知、反応、適応する能力を与えてくれるため、結果的に強力なセキュリティ体制による敏しょう性の優位性を得ることができます。これらの製品は企業を保護しながら、企業がアプリケーション・エコノミーにおいて競合他社と競い、存続するために必要なデジタル上における信頼関係を構築します。

※[The Security Imperative: Driving Business Growth in the App Economy](#), Coleman Parkes Survey (調査日 2016 年 5 月-9 月)

参考資料

・[CA World Online Press Room](#)

CA Technologies について

CA Technologies (NASDAQ: CA) は、ビジネスの変革を推進するソフトウェアを提供し、アプリケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスをつかめるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。CA Technologies の詳しい情報については、<http://www.ca.com/us.html> (米 CA Technologies)、<http://www.ca.com/jp> (日本)をご覧ください。また、ツイッターについては、https://twitter.com/ca_japan をご覧ください。

***本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。**

この件に関する報道機関からのお問い合わせ先:

CA Technologies
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-9 JA 共済ビル 9 階
コーポレート・コミュニケーション部
TEL: 03-6272-8110 FAX: 03-6272-8115
e-mail: CA@pr-tocs.co.jp